

町田市の学校をなくさないことを求める請願

請願趣旨

2021年の発表された「新たな学校づくり推進計画」において、子どもたちの通学、教育環境、保護者の負担、地域に対してなど、さまざまな問題があるため

請願理由

・学校は子どもたちが育ちあう場

「新たな学校づくり推進計画」では、小学校17 学級以下、中学校 11 学級以下を廃校にしようとしています。しかし、文部科学省では小中学校 12 学級～18 学級が適正規模であり、町田市の基準は日本国内でもまれです。わざわざ統合して大規模な学校にすると、先生が目が子どもたちにゆきとどかなくなり、いじめや不登校の要因ともなります。少子化の時代だからこそ、一人ひとりが大切にされ、育ち合う場が必要です。先生と子どもたちの信頼関係を築くために、今ある学校を廃校にしないでください。

・学校は歩いて行けるところに

今ある学校が廃校になってしまうと、遠くの統合校まで通学に一時間以上かかったり、山坂を超え、危険な道を通学したり、バスを使って通学しなければならない子どもたちが多くなります。地域の人たちに見守られながら、安心して歩いて通学できる学校を残してください。

災害が起こったとき、学校を減らすと、遠い避難所まで歩かなければなりません。学校は命を守る避難所です。子どもたちも高齢者も歩いて避難できる学校をなくさないでください。

請願項目

2021年5月に突然発表された「新たな学校づくり推進計画」は、住民や子どもたちの声を聞かずに進められています。町田市の小・中学校 62 校中、41 校を廃校にする「推進計画」を見直すことを求めます。